

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	かなゆめキッズま〜る		公表日	令和8年 5月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・動と静のスペースが分かれている ・基準の通りのスペースである。ゆったりとしたスペースである。	・放デイの児童と同じ空間にいると少し危険を感じることもある ・クールダウン室や静かな部屋を作った方が良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・コーナースペースがあつたりマットで動と静のスペースを分けている ・保育園のコーナー保育を取り入れている	・コーナー（仕切り）がバリアになつたり見えないという壁になっている。 ・コーナー遊びの場は、上部は見えるようになっていないバリアだと思わない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日の掃除、毎朝の桃の配置、片付けに配慮して心地よく過ごせるようにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・ロフトの中でのクールダウンができる。ソファアーに座り、リラクセスもできている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・目標設定にはもっと力を入れたい。振り返りは職員が積極的に参加できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・前年の評価を参考にして次年度の計画や支援に活かしている。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・意見交換を常に行い、よりより支援ができるようつなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・外部講師を招き業務改善、支援の質を向上できるようにしている	・今後もっと外部評価の質をあげていべきだと思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・しっかり確保されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・作成し、公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	・インフォーマルアセスメントの大切さを理解し、各職員でも客観的に分析してもらっている。	・個々のこどもについては、課題があると思う
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援者会議で共有している。 ・建設的な意見を交換している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援者会議や日々のミーティングで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・日々の行動観察は支援記録に書いているが、インフォーマルな事業所だけのアセスメントは用意していない。用意し、支援に活かしていきたい。
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・今後も具体的な支援内容の工夫をしていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・翌月のプログラムを前月に立案している。 ・2週間かけて細かく立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・曜日ごとにプログラムが分けられているが、児童の利用曜日とプログラムが偏らないように配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・集団活動を主に木、金曜日に設定している。児童の状態に合わせて無理強いせずに個別活動や集団活動を組み合わせ支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・日々のミーティングでその日の活動や特記を職員間で共有している。 ・当日の役割についてはリーダー・サブ・フリーと当番を決めている。	・前日の申し送りなど、日々話し合う事項が多くて、十分にできていない日もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・業務後にはできていないが、翌朝のミーティングで振り返りを行っている	・送迎に出ている職員もいるため、中々全員には行き届いていない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・支援記録簿を活用して記録を取り、支援の検証・改善に努めている。	・目立った出来事以外は、あまりふれることはない。でも、改善しようとはしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・個別支援計画作成の前にモニタリング会議を行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達管理責任者や児童指導員など、会議の目的に合わせて参加している。また、参加者のみの考えではなく会議に参加する前に事業所として共有したいことなど確認している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・関係している園や機関相談支援事業所の方と連携をとれるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・保育園との支援内容の情報共有は互いに時間を調整して会議を持つようになっている。	・法人として保育園、学童をもっているが学童との連携としては理解はあるが、保育園としての相互理解としては不十分だと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	・小学校との情報共有は送迎時に担任や支援員の先生方と話を共有している。	・保護者からの情報としては聞くが、事業所から担任の先生と関わる等。学校での目標と事業所での支援の共有はできていないように思える。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				・あまり情報が行き届いていないため、今後は
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	・今後はそのような機会をもてるようになりたい。センターの早期設立を望んでいる。	・センターがない為。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・季節に合わせた行事等で交流をしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・個別支援計画書に基づく、こどもの課題や日々の活動で見えるこどもの姿を保護者に伝えるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・事業所主催の研修はしていないが、研修の情報提供をしている。 ・交流会を開催している。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・契約の時に時間をかけて、保護者と読み合わせをしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	・児童発達の場合は、本人の意見を取り入れるのが難しいこともあるが子どもたちの「やってみたい」と大切にプログラムに反映させている。	・保護者の意見はもらっているが、本人（児童）の意思を反映したり相談することは少ない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・送迎時や必要に応じて面談の時間を設けて助言や支援等を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・父母の会はないが、親子交流会や保護者交流会を開催。兄弟児も参加できるようにしている。	・今後もさらにその機会を増やしていく必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・保護者からの相談の申し入れがある場合には、迅速に対応できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月、ま～るだよりを発行している。保護者との連絡体制についても発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・写真や動画の使用に関する同意書を作成している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・保護者のニーズに合わせて、公式LINEや文書・電話・対面での聞き取りなどの配慮をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・事業所への招待や交流がもてるよう、近隣の事業所に出向いている。	・今後取り組んでいきたい。地域のサービスの方々との交流をしたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・マニュアルの策定はできている。また、不審者訓練も実施している。	・家族に周知しているかわからない。マニュアルをもとに発生を想定した訓練はしていない。 ・不参加の場合のアフターフォロー
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・事前に保護者からアセスメントをとり、データをとって保管し活用している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・特定の食材のみを除去する児童が対象児でないが、アレルギーがある場合は保護者に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・年間計画をたてて消防訓練や不審者訓練など実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・保護者安否確認や消防訓練については、送迎時にお伝えしているようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットがある際には、期間をあげずに対応策・予防策などを職員で検討している。	・さらに細かく共有していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止について事業所内、外部研修に参加して共有するなどしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3		・現在は対象児がいいため、特に話し合い等はしていない。